

サブマージドコンバッション式 LNG気化装置

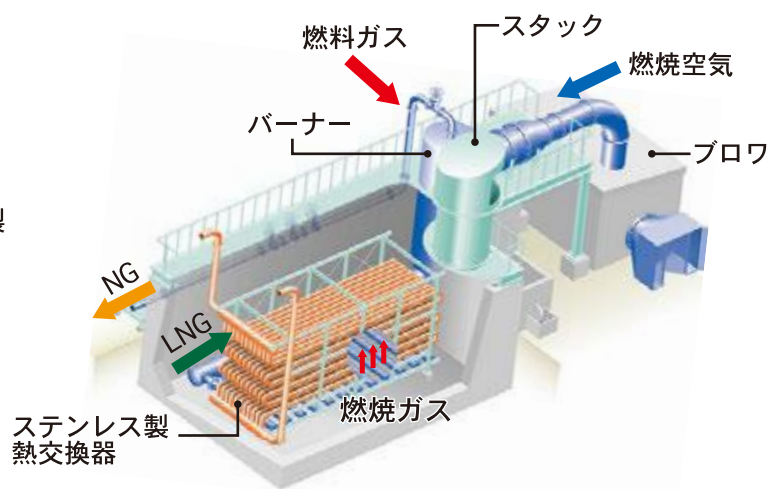
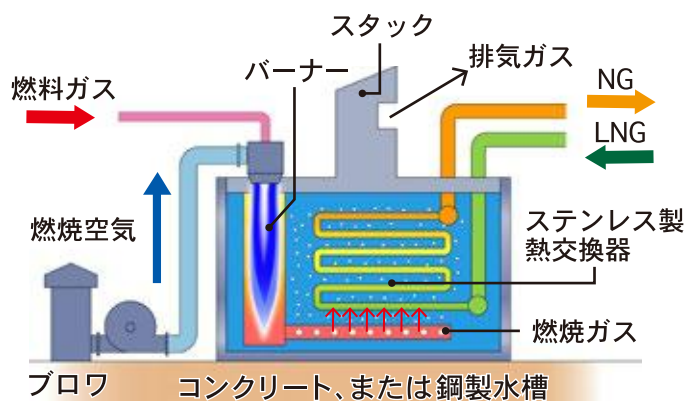
SUBMERGED
COMBUSTION
VAPORIZER (SCV)

概要

サブマージドコンバッション式LNG気化装置は、水中燃焼バーナーの燃焼ガスにより加熱された温水でステンレス製伝熱管内のLNGを気化させる装置です。
この方式は設備全体のイニシャルコストが安く、また急激な需要増大をカバーするための急速起動および急激な負荷変動が可能であることから、ピークシェーピング用もしくは緊急予備用に使用されています。



主要構造



特長

コンパクト設計

海水取水路・排水路などの大きな設備は不要で、全体的にユーティリティー設備建設費が削減可。気化装置はバス底部から噴出する燃焼ガスのガス・リフト作用により高い熱交換性能が得られるため、非常にコンパクトな設備。

高い熱効率

スタックから排出される排ガス温度が低いために熱損失が少なく、計算熱効率は高位発熱量ベースで98%以上。

信頼性

LNGに接するすべての部分は耐腐食性・低温強度の優れたステンレス鋼を使用。特に伝熱管には応力腐食や粒界腐食の少ないSUS304LやSUS316Lの低炭素ステンレス鋼を使用。また構造がシンプルであるのでメンテナンスが容易。

運転性能

急速起動が可能で、また需要の変動に対して10～100%の任意の負荷での運転が可能。

環境保護対策型

低NOx、低COの環境保護を考慮した、自然にやさしい設計。

住友精密工業株式会社

熱交換器営業部

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル4階

☎ 03-3217-2812

ホームページはこちら www.spp.co.jp/netsu/

FAX 03-3217-2822 E-mail netu-sales@spp.co.jp